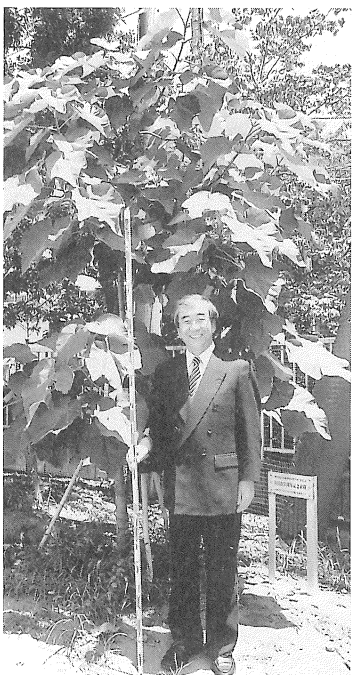


平成十六年度・年会費の納入をお願いいたします



# 3本の桐の木植樹 田高校歌CDの制作

永遠の夢追い人でいよう！

月日会々長 田中博隆 (6期)

日頃は同窓会活動にご協力を頂きありがとうございます。母校には今まで校章である桐の木がなく、五〇周年を機に「母校に桐の木を植えよう！」という機運が高まりました。一昨年の記念行事の会場で「桐の木募金」を行いましたところ、多大なご協力を頂き、お蔭様で三本の桐の苗木を校庭に植樹することが出来ました。若木たちは現在、夏の陽を浴びて大きな葉を青々と元気に繁らせています。記念植樹のプレートも立派に完成致しました。

そして青春の思い出、我が最愛なる校歌ですが、近年は歌う機会が少ないとかで、校歌を歌えない生徒が多いと聞いて、これまた母校の危機。我々卒業生の浪漫と、生徒たちの土気の高揚を図る為にも、正調の校歌をCDにして残す必要性を確認しました。月日会では財団法人田園調布を通じてPTAにも働きかけをし、資金の一部を負担して今春「校歌のCD」一一〇枚を制作、五十二期卒業生を初めとして、在校生一年から三年までの全生徒に一枚ずつ贈りました。今後も財団を通じて新入生たちにCDを贈る活動を続けたいと考えています。来春作成する機会に購入ご希望の方に頒布したいと思っています。

新しい校旗、桐の木植樹、校歌CDなど母校を軸として追いついてきた夢がひとつずつ現実のものとなり嬉しい限りです。この歌の陰には、山田辰明前校長の絶大なご支援がありました。また桐の木植樹の際の多田様、稲垣様、CD作成に当たっての小中先生、下河原先生の多大なご尽力に改めて御礼を申し上げます。

桐の木、そして校歌を通じて、今後更に同窓会の縦糸を強化することが出来たら、この上ない喜びとなります。

皆さん桐の木の成長を見に田高へお出掛け下さい。そして一緒に校歌を斉唱しましょう。

このたび副会長 鈴木洋子さん(11期)が退任することとなりました。

長い間私の足りないところをおぎなって下さり、いろいろと大きなお力添えをいただきました。感謝しております。

後任には山口征彦さん(5期)を選任させていただきました。よろしくお願い致します。



発行所  
都立田園調布高等学校  
同窓会 月日会  
東京都大田区田園調布南27-1  
電話 03 (3750) 4346  
発行人 田中博隆  
編集責任者 千本俊江

## おもな内容

- 財団 校歌CD制作
- 幹事会便り 新役員・新体制
- 成長した桐の木
- 名物先生訪問 国語科 新垣先生



## 第五十二回 卒業式に参加して

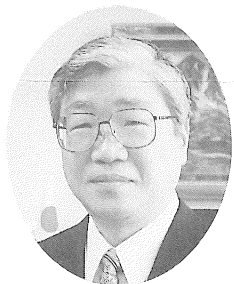
51期 石黒まなみ

先日、記念品贈呈者として52期生の卒業式の舞台へ上がり、お話を伺いました。その時の皆さんの眼はこれからの将来への希望が満ちているように見え、入退場する時の足並みも卒業後の生活へ期待を抱いているかのように感じました。皆さんの顔は羨しいほど輝いており、まだ見えない未来に不安もあるでしょうが、田高卒業生として誇りをもって進んでほしいと思います。田高で学んだ多くの事、田高で得た友情を忘れずに、何かにつまづいた時には「田高」を励みにして欲しいと思います。卒業おめでとうございました。心からお祝い申し上げます。

## 田高に着任して

第十四代 田園調布高校長

石川直弘



『でんこう』という言葉は本校に着任してはじめて耳にしました。私は一学区(今は一地区といいます)に合計十八年勤めてきましたが、誰もが本校のことを略称で「田調」と呼んでいました。

改めて本校の生徒や月日会の方々が言う「でんこう」という言葉

言葉を聞いてみると、「田高」と発せられた言葉のなかに「母校」という意味合いが深くしみこんでいることが分かりました。それだけ本校を愛する生徒、同窓によって支えられている学校であることを肌で感じる事ができました。それは大変うれしいことであると同時に、本校をさらに発展させる責任の重さを痛感させられることでもありました。

毎年四月はじめに、東京都の全公立学校(幼・小・中・高・専)の校長を集めた教育委員会の施策連絡会が行われます。石原知事をはじめとして各委員が本年度の所見を述べるのです。

## 今春五十五期生 二四四名入学



心も緊張したおもちゃで入場した55期生の皆さん。服装はまちまちでしたが、足元のそろいの上靴が光って見えました。三年間のよい「田高」生活を送ってください。

## 多摩



人生とは「いつ何が起きるか分らないもの」ということを、つくづく実感する此の頃。思えば田高時代には、そんなことを何も考えたことはなかったように思います。

とはいえ高校時代、毎日をどのように過ごしていたかとか聞かれても定かには答えられない気がするのですが、おぼろげな思い出が、かえって当時に彷彿とさせてくれるように思います。途切れ途切れに、ひとコマずつがまるでスナップ写真のようです。そんな思い出が時には心地良く、また時には切なく蘇って、過ぎ去った歳月の余りに永いことを悟られます。

少しだけ大きくて、まだまだ子どもだった高校時代。でもその時は、一生懸命大人ぶったりしたもの。友だちといろいろな経験をしました。みんなとたくさん話しをしました。目の前には、夢とか希望とかいう言葉があったように思います。今考えると、とても楽しい三年間でした。

今年11期生は還暦を迎えます。みんなそれぞれにいろいろなことがあって、ここまで来ました。あの日のあの時の皆さんの笑顔が、今も高校時代の顔そのままに思い出されます。そんな笑顔と交した会話を、おひとりずつ思い出している此の頃です。

11期 鈴木 洋子

新卒業生  
五十二期生  
二百三十二名

田高卒業生は延一万四千三百三十三名となりました。連絡可能月日会会員は、約一万一千名です。



月日会へのご寄付ありがとうございます！  
(平成十五年度分)

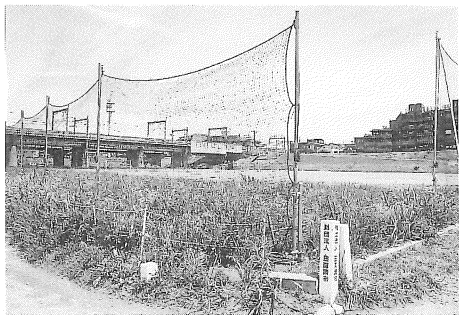
|                         |                               |                               |                        |                                                   |                                                  |                                         |                                         |                                          |                                                                    |                                |               |                                                                           |                      |                                 |               |                    |                                 |               |                        |                                |                                                   |                        |               |                                          |                        |               |
|-------------------------|-------------------------------|-------------------------------|------------------------|---------------------------------------------------|--------------------------------------------------|-----------------------------------------|-----------------------------------------|------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------|--------------------------------|---------------|---------------------------------------------------------------------------|----------------------|---------------------------------|---------------|--------------------|---------------------------------|---------------|------------------------|--------------------------------|---------------------------------------------------|------------------------|---------------|------------------------------------------|------------------------|---------------|
| 元校長先生<br>船本 治義<br>寺島 甲祐 | 6期生<br>田中 博隆<br>金子 隆<br>鶴岡 成子 | 12期生<br>長澤 伸<br>川嶋 透<br>藤谷 元康 | 24期生<br>増永 敦子<br>磯辺 富雄 | 元教職員<br>岡田 哲郎<br>清水 孝雄<br>関根 幹子<br>中森 豊太<br>新野 京子 | 7期生<br>金子喜一郎<br>磯野 好宏<br>齊藤 紀子<br>田中 洋一<br>横山惣一郎 | 14期生<br>高城 裕之<br>島田 正二<br>和田 克枝<br>松原 暁 | 26期生<br>眼龍 祥子<br>三輪 鉄郎<br>土屋 尚<br>小湊 美里 | 元PTA<br>宮田美智子<br>永久保初栄<br>今井まり子<br>田中 克美 | 8期生<br>岩野 光邦<br>田中 恭子<br>川島 邦子<br>大蔵 正人<br>佐々木京子<br>村岡アキ子<br>塩入 幸子 | 15期生<br>宮下 広浩<br>片岡 護<br>千本 俊江 | 30期生<br>大庭 秀仁 | 1期生<br>植村 修也<br>池田マサ子<br>常盤 彦吉<br>萩原 利春<br>中島 國幸<br>西山 正<br>河内 迪子<br>石川 豊 | 9期生<br>蔵方 宏昌<br>簡 敏子 | 17期生<br>工藤能理子<br>三ツ木秀夫<br>鈴木 博幸 | 32期生<br>市原 朋宏 | 2期生<br>森 章<br>清水 博 | 10期生<br>矢口 雅章<br>塩出 敏彦<br>落合 栄治 | 19期生<br>知野千寿子 | 37期生<br>飯田 英之<br>小西 正晃 | 4期生<br>八木 健之<br>茂野チヨ子<br>玉置 昭光 | 11期生<br>相田 純孝<br>鈴木 洋子<br>西室 昭子<br>本間 允司<br>伊藤 浩子 | 22期生<br>古和田鶴子<br>小林 雅人 | 42期生<br>由比 隆太 | 5期生<br>伊藤 セン<br>大司 俊一<br>中村ミツ以<br>太田垣紀美子 | 23期生<br>清水まゆみ<br>宮地 一雄 | 47期生<br>松尾 義洋 |
|-------------------------|-------------------------------|-------------------------------|------------------------|---------------------------------------------------|--------------------------------------------------|-----------------------------------------|-----------------------------------------|------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------|--------------------------------|---------------|---------------------------------------------------------------------------|----------------------|---------------------------------|---------------|--------------------|---------------------------------|---------------|------------------------|--------------------------------|---------------------------------------------------|------------------------|---------------|------------------------------------------|------------------------|---------------|

年費ご納入ありがとうございます。今年度もよろしく願います。

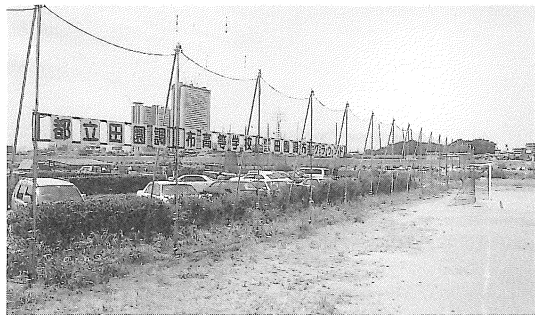
会員の皆様お元気にお過ごしのことと存じます。月日会活動にご理解をいただき心から感謝申し上げます。月日会活動は、会報を毎年お送り出来たのも皆様の貴重な資金のおかげです。幹事一同も有意義な活動に一生懸命がんばっております。ボランティア活動だけにいろいろ不届きの点も多いと存じますが、どうかご寛容の精神でご支援を頂ければ幸いです。年費に、ご寄付に協力をお願いいたします。

月日会々長 田中 博隆

財団法人 田園調布  
田グラにネット設置



財団で管理しています多摩川河川敷のグラウンド(通称・田グラ)に新しいネットを設置しました。これは野球部やサッカー部が練習する時に川にボールが飛んでいたり、隣のゴルフ練習場の前にとまっている車に当たったりというトラブルがあったため、のびのびと練習できたいので是非という要望があり実現したものです。



田グラで風あけ



財団法人田園調布が管理している田高のグラウンドは地域の方にサッカーやその他の試合や行事に広く活用されています。池上みどり幼稚園よりグラウンドを借りたお礼の手紙と写真が届きました。グラウンドの地域への有効活用はこれからも続けたいと思います。

校歌CD希望の方はお申込みを

財団法人田園調布では校歌のCDを制作し、五十二期卒業生から五十五期新入生までに配布しました。今後は毎年新入生に配る予定にしています。

近況お便り

2期同期会のお知らせ  
卒業後五十周年記念田高2期同期会を開催いたします。  
①日時 平成十六年十一月六日(土) 十二時より  
②場所 東京都庁議会議棟一階 カフェテリア 「プチモンド」  
正式の案内は後日あらためて連絡いたします。多数の出席をお待ちしています。

田高2期同期会事務局「三好商事(有)内」  
045-4441-2266  
045-4441-7273  
15期同期会のお知らせ  
二〇〇〇年に「ミレニアム同期会」を開催してから早や四年。今年はオリンピックの年、同期会開催の年となりました。再び、旧友や恩師を囲んで杯を傾け、語り合いたいと思います。  
日時 十月二十四日(日) 二時開会  
会場 新橋三井アーバンホテル 地下1F  
キャッツ&ドッグ  
ハ〇〇〇円位(詳しい案内は九月頃)

でんえんちやうふ  
ごうこうのせんせいへ  
おそろにたかくたこが  
あがりましたうれしかったです  
あいがとうございました。  
ねんちやうふ いけがみひだりえん

清成考元校長先生  
ご逝去

昭和四十一年から四十五年まで第四代校長を務められた清成考先生が、今年三月二十六日ご逝去されました。先生には生前、月日会へ物心両面での多大なご厚情をお寄せ頂き、温和でまさに清々しいお人柄を忘れることができません。ここに先生のご冥福をお祈りし、謹んでご報告致します。

昭和四十一年から四十五年まで第四代校長を務められた清成考先生が、今年三月二十六日ご逝去されました。先生には生前、月日会へ物心両面での多大なご厚情をお寄せ頂き、温和でまさに清々しいお人柄を忘れることができません。ここに先生のご冥福をお祈りし、謹んでご報告致します。



(裏) (表)  
創立当時の運動会優勝メダル  
(新垣先生より)

21期 中神 章弘  
十五年四月より葛飾区に有る東京都水元公園管理事務所長を  
しています。  
22期 小林 雅人  
私立大学の行く末が少子化の  
影響で不透明なことが心配で  
す。  
25期 松岡 律子  
会報を懐かしく読ませていた  
だきました。出席された元教員  
の中にかつて教えていただいた  
先生のお名前を見つけ、お元氣  
でよかったですと嬉しく思いました。  
26期 清水恵美子  
「東京都は原則三年で先生を  
異動させる」という話に、二人  
の小学生の子を持つ親としてび  
っくりです。  
28期 林 康二  
一昨春秋に出版された「資本  
主義は生きるのびるか」シユンベ  
ーター経済学・社会学論考」  
(八木紀一郎編訳、名古屋大学  
出版会)に小生は三編の翻訳を  
担当しました、興味のある方は  
一読を。  
30期 田中 保明  
大学卒業後、三菱電機に入社  
しました。あちこち転勤し、現  
在は熊本に赴任しています。  
32期 森下三恵子  
卒業して二十年近くが経ち、  
三人の子の母となりました。同  
級生が田高の先生となつてい  
るようなので驚きました。  
34期 板井 伸治  
海外勤務四年になります。  
(フランス・パリ)  
44期 亀井 瞳  
キリスト教会で牧師となるべ  
く働いています。  
49期 根本 淳一  
H十五年四月より世界の日  
産?へ無事就職。社会人一年生  
となりヤル気満々です。  
50期 柳田 清孝  
明学でアイスホッケーのサー  
クルに入り頑張っています。

合格者の多い四年制大学（浪人生含む）

| 【転出】   |                 | 教職員異動 |  |
|--------|-----------------|-------|--|
| 山田 辰明  | （校長）退職          |       |  |
| 床 大森定  | （国語）退職          |       |  |
| 加藤 修弘  | （英語）退職          |       |  |
| 高成田 智子 | （地理歴史）退職        |       |  |
| 小林 怜子  | （数学）退職          |       |  |
| 日浅日出 男 | （数学）退職          |       |  |
| 金高 悦史  | （英語）退職          |       |  |
| 高橋 賢一  | （理科物理）蒲田        |       |  |
| 小林 孝行  | （保健・主幹）台東商定     |       |  |
| 益本 正則  | （保健）蒲田          |       |  |
| 箕輪 好明  | （保健）六郷工科        |       |  |
| 石川 直弘  | （校長）羽田工業        |       |  |
| 鈴木 ね子  | （国語）八潮定         |       |  |
| 河原 則明  | （地理歴史）中野工全      |       |  |
| 金澤 利夫  | （地理歴史）指導主事・二A主幹 |       |  |
| 西潟 泰   | （数学）日黒全         |       |  |
| 栗山 智二  | （理科物理）永福        |       |  |
| 園田 教男  | （理科物理）つばさ総合     |       |  |
| 加藤 桂   | （英語）葛城新採        |       |  |
| 濱崎 俊浩  | （英語）高西南全        |       |  |
| 山室 保保  | （保健）町田工         |       |  |
| 寺嶋 幸子  | （保健）新採          |       |  |
| 福原 茂利  | （保健）大森東教頭       |       |  |
|        | （保健嘱託）玉川        |       |  |

## 教職員異動

① 先生は何部の顧問でしたか。  
② 新何かや少なくともちやという熱い思いがあつてバレー部の顧問になりました。田中君もバレー部だったな。  
③ そうですね。外で泥んこになつてやりましたよ。  
④ 新創設一年目の先生方は手分けして土地探しから始めたそうです。初代校長の岡沢先生は朝礼でも職員会議でも「フロンティア精神」という語を挙げておられたのでこれから新しい学校を創るんだという気持で先生と生徒が一つになつていましたね。  
⑤ その頃の田高生はどうでしたか。

いので六つ上の兄貴という感じでしたよ。三年生になって初めて担任の先生になって僕らが先生の初めての卒業生です。

⑧四六時中休み時間でも生徒と一緒に過ごした記憶があります。昼食後もすぐ外に出て棒切れで野球をやったり砂場で相撲をとっていたのですね。

⑨そうです。一回生がすぐく頑張つて、田園調布高校はオレの高校だという意識が芽生えてきた。大学進学なども一学区の既設校を抜く勢いだった。そして二・三回生にはこの学校を第一希望にする生徒が増え、補習授

⑤ 僕も田高の教師をしていた時期がありました。昭和四十二年頃から先生方の交代期に入り、その後は十年を目安に先生が交代しました。

⑬ 15期の頃になると田高ムードという語が使われだしてなるとなくおっとりした雰囲気がある。

会理事でバレーボール協会会長である2期の摩壽意氏の挨拶のこと、試合開始です。四十名以上が参加して暑い体育館は熱気で盛り上がりました。「やり始めたから楽しくて毎年参加です。吉昏（よしかげ）て地元でプレイしたいです。」と大田区の体育会

高校野球の決勝戦で愛工大が雷に初出場で初優勝の快挙を遂げた事はまだ記憶に新しい事とあります。全国にその名を知らしめた栄誉を讃え一際大きく球場に響いていた清美の学園歌「光になろう」。カクテル光線に包まれて、選手も心愛席の1者にな

もそんなと強くっていった。そんなのもそも田高がこの地に移転したのとは初代校長岡沢先生のおかげです。私も校長のかばん持ちをして地主さん宅を訪れた事がありました。あちこち見て歩いた結果、亀の子山かこの地かという事になり、最終的にこの地に田園調布高校の新しい校舎が建設されたわけです。最初が木造校舎で普通教室五、特別教室四でグラウンドしました。多摩川河川敷のグラウンドは月に一・二回は草取り日があつて石拾ひもしました。グラウンドの周りをしょっちゅう掃除をして

森元先生も私もまさかとは思ったのだがそれが譲渡・移築されたあの有名な木造の体育館に生まれ変わったというわけでした。

◎山中寮も払い下げでした。

◎岡沢先生が生徒の「あつたらしいな」という声を汲んでもともと都留市にあった裁判所を払い下げでもらった。岡沢先生は常に生徒や先生が何を望み何を必要としているかを考えて即断でも教師として一人前に扱いし、田高は楽しかったなあ。

◎教師になったきつかけは？

(新参考書)を持ってゐる生徒は少ないから教材研究は詳細に手のうちをさうけ出し「与えよすべてを」でやつてきたが教員という職業ではそんな甘つちよい職業ではなかったね。教員生活三十九年自分のやつてきた事を振り返ると本当の日本語を教えてきただらうかという思いが強い。生徒と同じ目線に立つての授業だったのかと反省しきります。

最近、毎日のように国語辞書を開くんです。実に面白く共学を理解を得るための新発見が多い時代の流れで教育は講義だけではダメで日本語を生徒と共有

顧問の小林先生は、「生徒にとっては毎年大会前のいい練習試合になります」と話してくださいました。熱戦を繰り上げた後のビーはさぞ美味だったのです。



の合ことば、腕をとり、肩をみ、信じてみようよ、素晴し明日<sup>した</sup>が展<sup>ひ</sup>けるから。三年前に子高が創立百年目を記念して〇二年の共学を見越し、男子徒でも歌えるようにと新たな園歌を女性の同窓会長が作詞「学園歌を聴くど力が沸いてきす」と逆転サヨナラ三点本塁をスタン丁に打込んだ高橋主の談。田高でも我々の時代と異なり、近頃はめつきりと歌機会の無くなった「校歌」を日でも早く馴染んで口ずさん貰おうと、(財)田園調布で田高

に平家物語や源氏物語を現代語訳や原文で読んでくれて、その先生が好きでできたら国語の先生になりたいと。

私の時代は二十歳までには戦争で死ぬと覚悟をきめさせられていたからそれまでに好きな事をという思いが強く東京高等師範学校文科に入学しました。卒業して大先輩の岡沢先生が私のあばら家を訪ねられ、うちに来ないかとお誘いを受けました。当時、戦争が終わったばかりで服装がルンペンみたいな格好をしていたので住まいに近い学校では：と尻込みをしていたが、ハートでやるのが教育であり教師である。一肌ぬがなきやいかなと思つたわけです。

きしていただきます。

⑧私は国語の教員としては事務機器が好きな方だと思う。ワープロは二十年位前からで、定年になってしばらくしてから担任をしていた7期生たちに進められてパソコンを使い始めました。

⑨最近はどうな事に携わっていますか。

⑩ボランティアで外国人に日本語を教えています。日本語そのものの本質に触れてもらいたいと思っています。十分に理解してもらいにはなかなか難しいし、予習が大変です。

⑪健康に気をつけて、これからますますご活躍ください。

出席者…三好、清水、家人、寺久保、田中、簡、千本、小西

「田高進路プロジェクト」と銘打った田高特有の進路指導は各方面で注目されるようになってきました。その一つである「テーマ別キャリアガイダンス」では、田高生の進路選択に役立てるために様々な分野で活躍されている方に講演を依頼しています。放課後の時間帯に一年生から三年生までが自由に参加できる形で開催され、自分の進路を真剣に考えている田高生達に好評を得ています。こうしたガイダンスに講演をしていただけの方をさがしております。詳しいことは田高の進路部、または副校長までご連絡ください。

心も狭小にして、上から下へ、人々の心から湧き上がる血潮は同じです。国会開催中の本会議場で居眠りは疎か携帯でメールを打ったり、ゲームをして首肯に叱られたり、そんな議員さんが決めて強制している「国旗国歌」で真の愛国心が本当に育めると本気で思っているのでしょうか。

5期 山口 征彦

**皆様からのご連絡を！**

同窓会活動の提案、会報への投稿、近況報告、訪ね人やバザーの献品等々。

〒一四五—〇〇六一  
大田区北千束三二四—一四〇九  
月日会々長 田中博隆

の合ことば、腕をとり、肩を預け、信じてみようよ、素晴らしき明日が展<sup>あ</sup>げ<sup>は</sup>れるから。三年前に左子高が創立百年目を記念して〇二年の共学を見越し、男子生徒でも歌えるようにと新たな学園歌を女性の同窓会長が作詞「学園歌を聴くと力が沸いてきます」と逆転サヨナラ三点本塁打をスタン<sup>ン</sup>に打込んだ高橋主<sup>しゅ</sup>平の談。田高でも我々の時代とは異なり、近頃はめつかりと歌機会の無くなった「校歌」を日でも早く馴染んで口ずさんで貰おうと、(財)田園調布で田高校

高校野球の決勝戦で愛工大が雷に初出場で初優勝の快挙を遂げた事はまだ記憶に新しい事とあります。全国にその名を知らしめた栄誉を讃え一際大きく球場に響いていた清美の学園歌「光になろう」。カクテル光線に包まれて、選手も心愛席の一人に